

SDGs（エスディージーズ）実現への取り組み

SDGs：Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標



下平建設㈱は、経営方針である

「共存共栄の理念のもと、個人と地域の快適な生活環境を創ることを通して、地域発展に貢献する」

「仕事に対し、熱意・努力・誠意をもってあたることにより、会社の信頼を得る」

を『SDGs：持続可能な開発目標』の理念として、
その達成に向け社員一丸となって実現を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標（SDGs）とは、

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として2015年9月の
国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、

地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

下平建設は**土木・建築**の建設工事を通じ、SDGsに取り組み
住まい手と地域にとって心地よい生活環境を創造することを通して
更なる地域発展への貢献を目指しています。

SDGs達成に向けた下平建設の取り組みとは・・・

一部をご紹介します



健康経営優良法人認定（経済産業省）を取得。
「健康づくりチャレンジ宣言」も行い職場・建設現場
の環境に配慮。

土木では危険・災害などの対策で安心な環境整備を。
建築では健康で安心安全な住まいづくりを目指し、
断熱・耐震性能の向上、普及に努めています。

建築において、環境に配慮した設備機器を導入することをご提案。
節水型にするなど、資源の節約にも配慮します。



建築では、地球温暖化対策への貢献として、住まいの
断熱性・省エネ性能を上げること、そして太陽光発電などで
エネルギーを創ることにより、年間の一次消費エネルギー量
（空調・給湯・照明・換気）の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする
ZEH(ゼッチ)住宅の普及率向上を目指します。
ZEH：Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略。
地球環境にやさしい家づくりは住まい手にとっても快適です。

土木では災害予防・復旧等の整備で安心安全な環境づくりに貢献しています。
工事が地域に与える影響を把握し、地域の方々への説明会や見学会を通じ
要望にも対応しながら地域に寄り添った環境づくりを心がけています。



土木・建築共に3Rの推進に取り組んでいます。
3Rとは、リデュース・リユース・リサイクル。
長野県産業廃棄物3R実践協定を締結し、実施計画と取組、
報告を行っています。
建築では健康で安心安全な住まいづくりを目指しつつ、
建築材料を計画的に無駄なく使用することで廃棄物の
削減に努めています。

パリ協定で日本が目標に掲げている

「2030年度までに、2013年度比で、温室効果ガスの排出を26%削減」を実現するためには省エネや脱CO2エネルギーへの転換が必要です。

建築ではゼロ・エネルギー住宅の、高断熱による20%以上の省エネと、太陽光発電等の自家発電設備による80%以上の創エネで、実質的に消費エネルギーをゼロに抑える住宅の普及推進に努めます。

13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



地域資源を活用して地域の気候・風土にあった良質で特徴的な「地域型住宅」の供給に取り組むグリーン化事業グループに所属。
建築工事にかかわる各事業者がグループとして連携することで、地域型住宅産業の振興や、国内や地域の森林資源の活用による林業の振興、さらには地域経済の活性化にも貢献します。